

(volume)

29

2015 AUTUMN

## CONTENTS

- 大阪医科大学三島南病院のご紹介
- 新任のご挨拶「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」
- 「膠原病母性外来」と「膠原病肺疾患外来」のご紹介
- 「平成27年度 紹介医療機関と大阪医科大学病院との連携強化のつどい」開催報告
- 「連携医療機関登録制度」の登録募集
- 編集後記

## ご挨拶 ～ 広域医療連携センター 入退院支援室設置にあたり ～

超高齢化社会に突入し、医療・介護の提供体制、病院・病床の機能分化および地域包括ケアシステムの構築は国の目指すところであり、病院は地域との連携を今まで以上に求められています。このような中、本院も高度先進医療を提供する急性期病院として専門的かつ濃厚な治療を終えた患者さまが地域で暮らせること、その人らしい良好な状態で健康の維持・悪化予防ができることを主として、入院から退院に向けての包括的支援が円滑に行えるよう、このたび6月より「入退院支援室」が組織されました。看護師、医療ソーシャルワーカー、事務員など多職種が協働して、地域の医療機関の先生方や訪問看護ステーションの方々との連携を強化し更なる医療連携体制を拡充・発展させていきたいと考えます。ご協力ご支援のほどよろしくお願いいたします。

広域医療連携センター 入退院支援室 室長 東 典子



## Topic-1 第二病院開設!

## 大阪医科大学三島南病院のご紹介

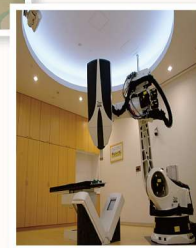
大阪医科大学三島南病院は、平成27年7月1日、学校法人大阪医科大学の第二病院として開設されました。

急性期病床93床、回復期リハビリテーション病床32床、療養病床89床、計214床の病院で、血液浄化センター、デイケアセンター、訪問看護ステーションを有しており、さらには三島圏域で唯一の「サイバーナイフII」を整備しているケアミックス病院です。「日本医療機能評価機構病院機能評価 Ver.6」の認定を受けております。国の政策である地域包括ケアシステムの構想に沿って大阪医科大学附属病院では、高度急性期医療を行い、その後の療養期在宅までを三島南病院で診させていただきます。

また、質の高い医療を提供するため、大阪医科大学附属病院の教授による専門外来の開設、手術も行います。

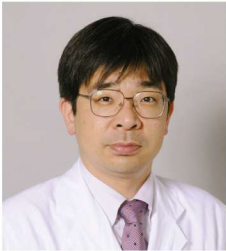
地域の医療機関と密に連携しながら良質で安全・安心な医療を提供いたします。

|        |   |            |       |      |       |
|--------|---|------------|-------|------|-------|
| 名称     | 大阪医科大学三島南病院   |            |       |      |       |
| 所在地    | 〒569-0856 大阪府高槻市玉川新町8-1<br>TEL 072-677-1333 FAX 072-677-1340              |            |       |      |       |
| URL    | <a href="http://www.omcmmh.jp/">http://www.omcmmh.jp/</a>                 |            |       |      |       |
| 開設年日   | 平成27年7月1日   |            |       |      |       |
| 開設者    | 学校法人大阪医科大学 理事長 植木 實   |            |       |      |       |
| 管理者    | 病院長 後藤 研三   |            |       |      |       |
| 病床数    | 214床(一般病棟93床、回復期リハビリテーション病棟32床、医療療養病棟89床)                                 |            |       |      |       |
| 診療科目   | 内科  | 外科         | 脳神経外科 | 整形外科 | 循環器外科 |
|        | 眼科  | リハビリテーション科 | 皮膚科   | 泌尿器科 | 放射線科  |
| 主要医療機器 | 高精度定位放射線治療器 X線一般撮影装置 X線TV撮影装置   |            |       |      |       |
|        | MRI(1.5T) マルチスライスCT(16列) 血管撮影装置   |            |       |      |       |
|        | デジタルマンモグラフィー  |            |       |      |       |
|        | 各種超音波診断装置(心臓、腹部、下肢他)  |            |       |      |       |
|        | 脳波計 スパイロメーター人工透析装置  |            |       |      |       |
| 併設施設   | 体外式衝撃波結石破碎装置  |            |       |      |       |
|        | 眼底カメラ他<br>各種内視鏡(上部、下部、気管支 電子スコープ)   |            |       |      |       |
| 施設基準   | 血液浄化センター(24床)   |            |       |      |       |
|        | サイバーナイフセンター(準備中)  |            |       |      |       |
| 設備/概要  | 一般病棟入院基本料10:1   |            |       |      |       |
|        | 回復期リハビリテーション病棟2   |            |       |      |       |
|        | 療養病棟入院基本料1、2  |            |       |      |       |
|        | 敷地面積/5766.81㎡<br>建築面積/3246.47㎡<br>延床面積/8239.98㎡<br>鉄筋コンクリート造4階<br>駐車場/58台 |            |       |      |       |
|        | 医師/14名 看護師/140名<br>技術員/93名 事務員/30名<br>教員/3名<br>合計/280名                    |            |       |      |       |



## Topic-2 新任のご挨拶

### 耳鼻咽喉科・頭頸部外科



耳鼻咽喉科・  
頭頸部外科  
科長

萩森 伸一

(はぎのもり しんいち)

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は聴覚や平衡覚、嗅覚、味覚などを扱う感覚器分野と、口腔・咽頭・喉頭癌などを扱う腫瘍分野に大別されます。超高齢時代を迎え当科に求められる社会的役割は急速に大きくなっています。河田科長との二人科長体制で、地域におけるセンターとして患者さまの様々なニーズに応えられるよう努めてまいります。

〈専門分野〉耳科手術、難聴・めまい・顔面神経麻痺の診断と治療

〈資格〉耳鼻咽喉科専門医、補聴器適合判定医師、騒音難聴担当医

- 略歴 平成元年 大阪医科大学卒業、大阪医科大学附属病院臨床研修医(耳鼻咽喉科)
- 平成 4年 大阪府済生会中津病院耳鼻咽喉科勤務
- 平成 8年 大阪医科大学耳鼻咽喉科学助手
- 平成10年 米国ピッツバーグ大学医学部耳鼻咽喉科研究員
- 平成12年 大阪医科大学耳鼻咽喉科学講師
- 平成17年 大阪医科大学耳鼻咽喉科学助教授
- 平成19年 大阪医科大学耳鼻咽喉科学准教授

- 趣味/特技 写真撮影、音楽鑑賞

## Topic-3 「膠原病母性外来」と「膠原病肺疾患外来」のご紹介

リウマチ膠原病内科 科長 榎野 茂樹

### 膠原病母性外来

膠原病は女性に有病率が高く、妊娠可能年齢の患者さまも多く、治療経過中に妊娠するケースや、出産後にリウマチや膠原病が発症する例も少なくありません。リウマチ患者さまや膠原病患者さまにおいて、妊娠に影響を与える治療薬の問題、妊娠中・出産後における病勢悪化のリスク、新生児ループスなどの児の合併症が問題となることがしばしば経験されます。リウマチ・膠原病患者さまの妊娠の管理には専門的知識が必要なため、当科では患者さまやご家族に対する十分なインフォームドコンセント、服薬調整などを行う専門外来を開設しました。安定した妊娠のためには、妊娠前の疾患コントロール、服薬調整が必要ですので、可能な限り妊娠希望の段階でのご紹介をお願いいたします。



### 膠原病肺疾患外来

膠原病は間質性肺炎、肺高血圧症、細気管支炎など様々な肺病変を合併し生命予後に大きな影響を与えます。その管理は膠原病と肺疾患の深い知識が必要です。当科は肺疾患に精通した複数の膠原病内科医を養成し専門外来を開設しました。膠原病の肺病変のみならず、膠原病の可能性のある肺病変もご相談いただければと存じます。ただ、加療が必要なケースでは、まだエビデンスのない領域ですので、当科にお任せいただくことが多くなることをご了承ください。



※上記外来についてのご予約は医療連携室までお願いします。



## ◎ 医療連携室からのお知らせ

### ■ 「平成27年度 紹介医療機関と大阪医科大学病院との連携強化のつどい」開催報告

日頃、本院と連携いただいている医療機関さまを対象に、7月18日(土)と9月19日(土)、ホテルグランヴィア大阪にて開催しました。

第3回目の開催となる今回は、大阪医科大学の将来構想のほか、難病総合センターの活動や広域医療連携センターの活動報告についてご説明しました。たくさんの医療関係者さまにご出席いただき、盛況のうち無事に会を終えることができました。お忙しい中ご出席いただいた皆様に、心からお礼申し上げます。



### ■ 「連携医療機関登録制度」の登録募集



本院が地域の医療機関さまと連携していることを患者さまにお知らせし、安心して医療を受けていただくことを目的として、「連携医療機関登録制度」を設けています。平成27年8月31日現在で、108医療機関さま・492クリニックさま・195歯科クリニックさまのご登録をいただきました。詳しい内容につきましては、ぜひ医療連携室にお問い合わせください。また、ホームページでもご確認いただけます。

大阪医科大学附属病院

検索

トップページ

→

医療機関さまへ

→

連携医療機関登録制度のご案内

## 編集後記

マラソンは正直だ。裏切らない。練習以上のいい結果が無ければ、その逆も無い。

練習の成果が見返りとしてきちんと返ってくる。そこが楽しい。

マラソン大会を終え、「いやいや後半ラッキー連発で軽く4時間切ったよ」とか

「あんなにも練習したのに結果は最低だったよ」なんてありえない。

日頃の練習だけが、実りになる。

夏の暑いときにも愚直に走る、それが冬場のシーズンに花を咲かすことになる。

全速力ではない、でも着実に前へ前へと歩みだす。

今、踏み出すその一步が本番の走力となって表れていく。それがなんと正直なことか。

だから、自分に問い直す。力いっぱい走っているか? 全力でいまの自分を発揮できているか?

コツコツと、着実に。答えの見えない努力を惜しまない。それがいつかきつと答えを出してくれる。そう言いかけます。

でも、最近はどうもなにか成果に急ぎ過ぎているように思う。

ラッキーはない、根がはれば、きつと実る。その大輪の花こそきつと見事だ。そう信じたい。

ゴールはもっと遠くていい。(M.M.)



## 医療連携室ご利用のご案内

### ■ 医療連携室「FAX紹介申込書」受付時間

平日 / 8:30~20:00

土曜日 / 8:30~12:00

※第2・第4土曜日は休診です。

※FAX受信は24時間可能(休診時も含む)。

但し受付時間以外の受信については翌診療日以降の対応となります。

### ■ 送信先 FAX.072-684-6339

### ■ 連絡先

大阪医科大学附属病院

広域医療連携センター医療連携室

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7

TEL.072-683-1221(大代表)内線2308

TEL.072-684-6338(医療連携室直通)

● 本院専用のFAX紹介申込書及び封筒をご用意しております。ご利用の場合は、電話又はFAXにてご請求ください ●